



品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成 1 6 年 1 2 月 1 7 日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝 野 幸
埼玉県草加市稲荷 5 丁目 2 1 番 2 0 号



試験名称	床合板を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋 7 1 7 番 1 号
試験体 (依頼者 提出資料)	<ol style="list-style-type: none">接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：フリーダムコーナー F-C10 接合条件：厚さ30mmの床合板を介して接合 用途：柱の仕口に使用される金物（中柱型） 寸法：121×46×30mm，厚さ6.0mm（図-3参照） 材質：SPHC（JIS G 3131） 表面処理：ダクロタイズド処理接合具 木ねじ：3#角ビット鍋スクリューφ6.0×90，柱側5本使用 長さ：90mm，ねじ部の長さ：75mm，ねじ部の外径：6.25mm 谷の径：4.45mm，ねじ山のピッチ：2.82mm，ねじ先の形状：切り刃先 表面処理：電気亜鉛めっき及び樹脂コーティング（緑） 3#角ビット鍋スクリューφ6.0×120，横架材側4本使用 長さ：120mm，ねじ部の長さ：75mm，ねじ部の外径：6.25mm 谷の径：4.45mm，ねじ山のピッチ：2.82mm，ねじ先の形状：切り刃先 表面処理：ダクロタイズド処理 材質：SWRCH22A（JIS G 3507）相当品であり，下記の化学成分を満足する。 C（0.18～0.23%），Si（0.10%以下），Mn（0.70～1.00%） P（0.030%以下），S（0.035%以下），Al（0.02%以上）使用軸組等 柱：樹種：すぎ，寸法：105×105mm，横架材：樹種：すぎ，寸法：105×105mm 床合板：構造用合板（JAS特類2級），厚さ30mm試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準引張耐力(P _{0t})：15.7kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6
試験期間	平成16年11月25日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋 本 敏 男 試験責任者 高 橋 大 祐 試験実施者 室 星 啓 和
試験場所	中央試験所